

図書館&がん相談支援センター連携ワークショップ<北日本地区>
『いつでも、どこでも、だれでもが、がんの情報を得られる地域づくりの第一歩』
平成29年1月23日 いわて県民情報交流センター（アイーナ）

『連携が安らぎある「場」を提供する』 ～和歌山県立図書館「がん」関係図書コーナーの開設から～

和歌山県立図書館
松田 公利



和歌山県立図書館「がん」関係図書コーナー
平成24年11月9日開設



和歌山県立図書館「がん」関係図書コーナー



和歌山県立図書館「がん」関係図書コーナー

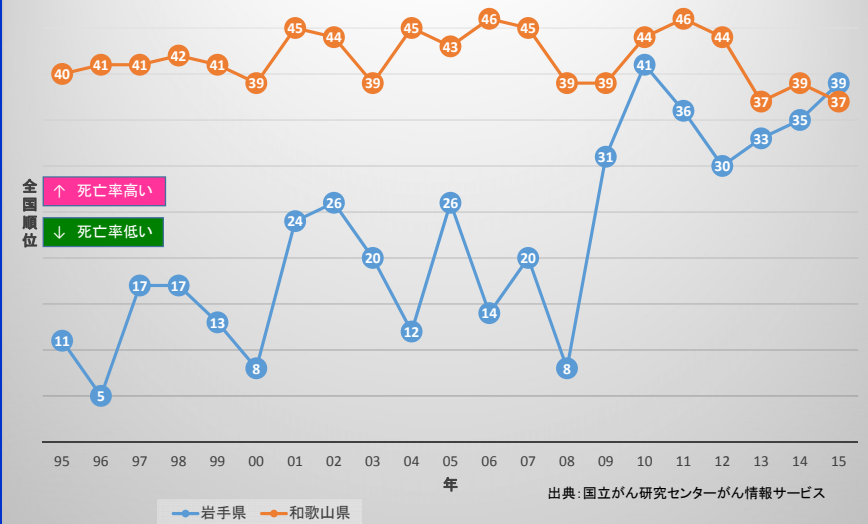
『肺がん死亡率 全国ワースト返上へ』

「わかやま新報」（平成24年5月29日付）

- ➡ まさか、和歌山が！（根拠の無い過信）
- ➡ 司書としては、ダメ！（アンテナの低さ）
- ➡ 図書館として、何かできないか！（がん情報の提供）

和歌山県の「がん」死亡率の状況はどうなっているのか？

75歳未満年齢調整死亡率 全国順位(全部位男女)



県民は、
「がん」死亡率の状況を知っているか？

県民の「がん」情報取得の環境？

「がん」関係図書コーナー設置

1. 「がん」コーナーの設置根拠

(1) 和歌山県の「がん」死亡率の現況 = **重点課題**

(2) 和歌山県の「がん」対策計画

- ① 『**和歌山県がん対策推進計画**』（平成20年3月）
「10年以内に年齢調整死亡率（75歳未満）の25%減少」
- ② 『**和歌山県長期総合計画**』（平成20年4月）
「将来像に向けた取組」→「がん」死亡率の削減を明示

1. 「がん」コーナーの設置根拠

(3) 図書館における医療情報提供の指針

- ①『公立図書館の任務と目標』第31項
(日本図書館協会図書館政策特別委員会・1989年1月)
- ②『地域の情報ハブとしての図書館―課題解決型の図書館を目指して―』
第3章の5「取組課題候補Ⅲ：医療関連情報提供」
(文部科学省・図書館をハブとしたネットワークの在り方に関する研究会・平成17年1月)
- ③『これからの図書館像～地域を支える情報拠点をめざして～(報告)』
第2章の2「これからの図書館サービスに求められる新たな視点」
第2章の3「これからの図書館経営に必要な視点」
(文部科学省・これからの図書館の在り方検討協力者会議・平成18年3月)
- ④『新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～(答申)』
第2部の2の(2)「社会教育を推進する地域の拠点の在り方」
(文部科学省・中央教育審議会・平成20年2月)
- ⑤『図書館の設置及び運営上望ましい基準』
第二の一の3の(三)→「地域課題に対応したサービス」
(文部科学省・平成24年12月19日文部科学省告示第172号)

2. 「がん」コーナー設置の目的

【対象は、県民】

- (1) 「がん」コーナーの認知度
- (2) 「がん」情報を気軽に得られる場の提供
- (3) 和歌山県の「がん」死亡率の課題を認知
- (4) 「がん」知識を深める
- (5) 「がん」について考える機会提供
- (6) 命の尊さ・家族の大切さを再認識
- (7) 「がん」の検診・予防の必要性を認識



がん患者さん・ご家族への
コーナーづくりが課題



3. コーナーづくり

3-1(1). コーナーづくりの認識

図書館が何をするのか提示する<見える化>

図書館の姿勢と意思表示



連携には不可欠

3-(2). コーナー内容の検討

目的(標)

設置場所

本(資料)

補助資料

資料構成

表示・掲示

ホームページ
＜リンク集＞

コーナー案内書

その他

3-(3). コーナー資料について

基軸資料

※医療情報:科学的根拠を基にしたガイドライン

(例)『インフォームド・コンセントのための図説シリーズ』

(医薬ジャーナル社)

・『診療・治療ガイドライン』(各学会編集)

・国立がん研究センター発行の資料

情報提供の入り口(基本資料)



※公立図書館の役割に基づいた幅広い資料提供

【根拠】

「図書館の自由に関する宣言」(日本図書館協会)

→ 憲法「知る自由の保障」・図書館法

3-(4). 和歌山県立図書館

「がん」関係図書コーナー資料分類(構成)

- 「がん1」: 呼吸器(肺がん)
- 「がん2」: 消化器(胃・食道・大腸・肝・胆・膵がん)
- 「がん3」: 泌尿器(腎がん・前立腺がん等)
- 「がん4」: 婦人科系(子宮がん・乳がん・卵巣がん等)
- 「がん5」: 血液・リンパ(リンパ腫・白血病等)
- 「がん6」: 他種(甲状腺がん・咽頭がん・小児がん等)
- 「がん7」: がん全般(治療・検査・予防・緩和ケア等)
- 「がん8」: 闘病記等(がん闘病記・患者支援・家族支援等)

約 700冊

4. 広報

4. 広報（内容）

- 県庁担当部局「健康推進課」への事前説明
- 「がん」関係機関へのサイトリンク依頼
- 報道機関への資料提供（取材依頼）
- 県職員用システム掲示板に掲示
- 「がん」関係講演会でのコーナー案内書を配付

外部広報

効果

内部広報

4. 広報（効果）

- ◎ 報道機関の取材（新聞・ラジオ・テレビ）
- ◎ 関係部局（県議会事務局・福祉保健部健康局・教育委員会）からの問い合わせ → 「和歌山県がん対策推進条例」制定前
- ◎ 県内「がん」関係機関からの問い合わせ
- ◎ 県民からの問い合わせ、評価

「がん」コーナー
認知

補助資料の充実

連携と
「場」の提供へ

5. 連携



和歌山県 福祉保健部 健康局 健康推進課の担当者

担当部局との連携

5. 連携(担当部局)

県民の後押し=知事への御意見①(平成26年3月)

ご家族が「がん」患者である県民から

- 「がん」関係図書コーナーでの取組全般を評価
- 関係機関との連携を評価(NPO法人・医療機関)
「(前略)図書館の創意工夫で、各事業者と連携するなど、県民へのがんに対する啓蒙活動であると賞賛します。……」

知事公室長から全県職員にメールで紹介

図書館の機能(可能性)を認識

5. 連携(担当部局)

担当部局の図書館への認識と理解

- ◎多くの県民が利用する場
- ◎県民による直接評価の可能性

行政広報としての有効性

5. 連携(担当部局)

連携の進展

- ◎福祉保健部健康局局長の来館
- ◎『がん対策施策報告書』(がん条例31条)に
県立図書館の取組報告
- ◎担当部局ホームページ「わかやまがんネット」
(平成26年3月開設)に当館案内
- ◎「がん」関係啓発活動の報告及びポスター等の掲示依頼
- ◎「がん」関係冊子、パンフレットの入荷連絡

図書館の取り組み=県「がん」施策の一部



NPO法人との連携

5.連携（NPO法人）

NPO法人「いきいき和歌山がんサポート」(H22設立)

【会 員】

患者さん・ご家族・医師・看護師・
放射線技師・社会保険労務士・
がん患者ピアサポーター ……

5.連携（NPO法人）

「がん」コーナー開設当初から、
何か有効な図書館の場所提供
できないか模索……？

他県の図書館にも
問い合わせ

5.連携（NPO法人）

「いきいき和歌山がんサポート」理事長(医師)の
講演会開催(H25. 3)

がん患者さん・ご家族の「居場所づくり」に言及

図書館での「場」の提供を決意

講演会終了後に、NPO会員の方々から要望

5.連携（NPO法人）

『県立図書館に「がん患者サロン」がほしい！』

- 患者さんの中には、
病院に行きたくない方がいる。
- 県立図書館には、いろいろな本がある。
- 県立図書館には、
「がん」コーナーがある。
- 県立図書館は、
落ち着ける環境である。

5.連携（NPO法人）



平成二十五年七月七日
「図書館いきいきサロン」開設

5.連携（NPO法人）

県民の後押し=知事への御意見②(平成26年5月)

御自身が「がん」患者でサロンに参加した県民から

- 県立図書館に「がん患者サロン」があると知って嬉しい。
- 県立図書館で開催された「がん講演会」で知った。
- 「慰められ、励まされ、精神的に本当に助けられた。」
- 県立図書館で「いろんな情報」が得られる。
- 県立図書館に「がんに関するコーナー」があることを知った。
- がん患者の気持ちが「癒やされる場」として「サロンの役目は大きい。」
- 「県立図書館に」、「そういう場」を作っていただいて本当にありがとう。

NPO会員の方々の理由と合致

図書館の「場」提供の重要性を認識

5.連携（NPO法人）



勉強会



談笑



相談対応



手づくり作業



講演会
(県立図書館共催)

などなど...

図書館いきいきサロン
活動内容

5.連携（NPO法人）

- リレー・フォー・ライフ・ジャパン わかやま 《広報の相互協力》
- 相互の情報提供・資料相談
- コーナー資料の点検 《理事長:医師の立場から》
- NPO発行資料のコーナー設置
- 各種機会における相互広報
- NPO役員との意見交換 《がん患者さんを身近に感じて》



昨年11月に、「いきいき和歌山がんサポート」の会員で社会保険労務士の 富永 博氏から出版書の御寄贈がありました。
※富永氏は、進行性直腸がんで治療中です。



和歌山県立医科大学附属病院

医療機関との連携

5.連携（医療機関）

和歌山県立医科大学附属病院
「患者支援センター がん相談支援センター」

【主なスタッフ】
看護師・社会福祉士

がん体験者の講演会
「がん患者・ご家族・県民のための公開講座」

5.連携（医療機関）

「がん」講演会の継続開催

予算！

和医大病院へ共催提案（H25.9）
《会場は県立図書館で》

5.連携（医療機関）

「公開講座」の役割分担

県立図書館

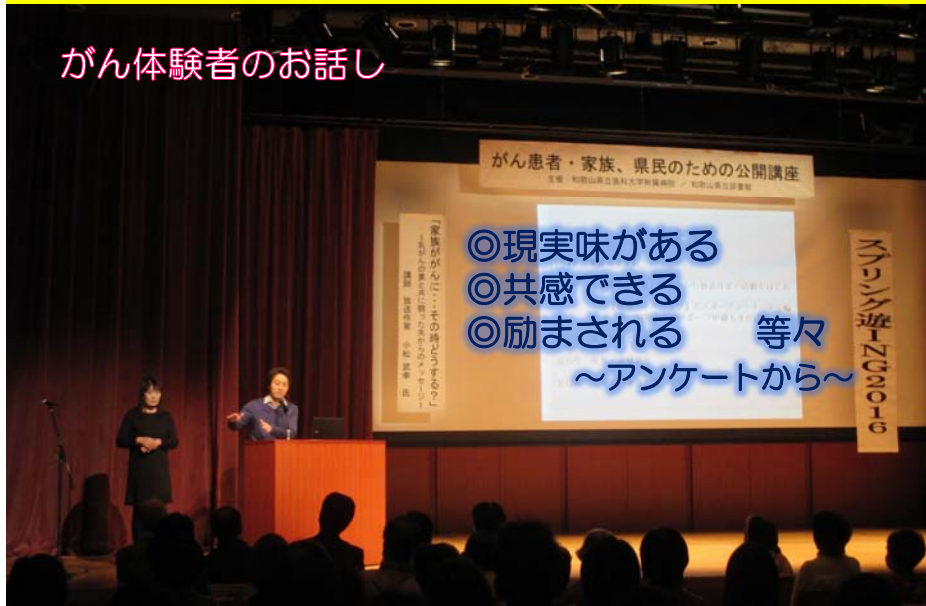
県立医科大学附属病院

- 講師提案
- 会場の提供、設営
- 広報（図書館・教育関係等）
- 広報（HP・館内・外部機関）
- 講師対応
- 講師著書の資料紹介
- NPO登壇者対応

- 予算！
- 受付・司会進行
 - 広報チラシ作成
 - 広報（県広報誌・HP・医療機関）
 - 参加申込窓口
 - アンケートまとめ

5.連携（医療機関）

がん体験者のお話し



5.連携（医療機関）



《講演前》
 <県立図書館司書>
 “講師著書の紹介”
 “「がん」コーナー案内”



《講演後》
 “NPO法人いきいき和歌山がんサポート活動紹介”

5.連携（医療機関）



図書館の利点

- ◎情報量
- ◎司書の専門性
- ◎幅広い利用層
- ◎場所提供・開館日
- ◎広報拡充
- ◎公開講座での情報提供の拡充

安心「場」の提供

5.連携（医療機関）



和歌山県立医科大学附属病院との連携利点

- ◎予算確保
- ◎医療現場の専門員
- ◎「がん」相談窓口
- ◎医療的相談可能
- ◎独自資料等の入手
- ◎公開講座の協力体制
- ◎市町村対応

貴重な存在

5.連携（医療機関）

国立がん研究センター・第一生命セミナー
「がん」の時代を生きる
平成28年10月6日 和歌山市

県内がん相談支援
センター担当者

後日、メールで連携協力の依頼

セミナーでの県立図書館紹介データがほしい！

がんサロンで図書館情報を提供



個人利用者・他機関との連携

5.連携（個人利用者）

国立がん研究センター
「患者・市民パネル」委嘱者

意見交換（面談）希望
H25.5

- ・必要な情報の提示（課題）
- ・「がん」コーナー（がん取組）の評価、理解
- ・日常会話を通じて ……

「場」の充実

- 「がん」を身近に
- 「がん」と向き合う個人の心情

個人との繋がり必要性

- ◎医療情報の提供力
- ◎図書館環境

5.連携（他機関）

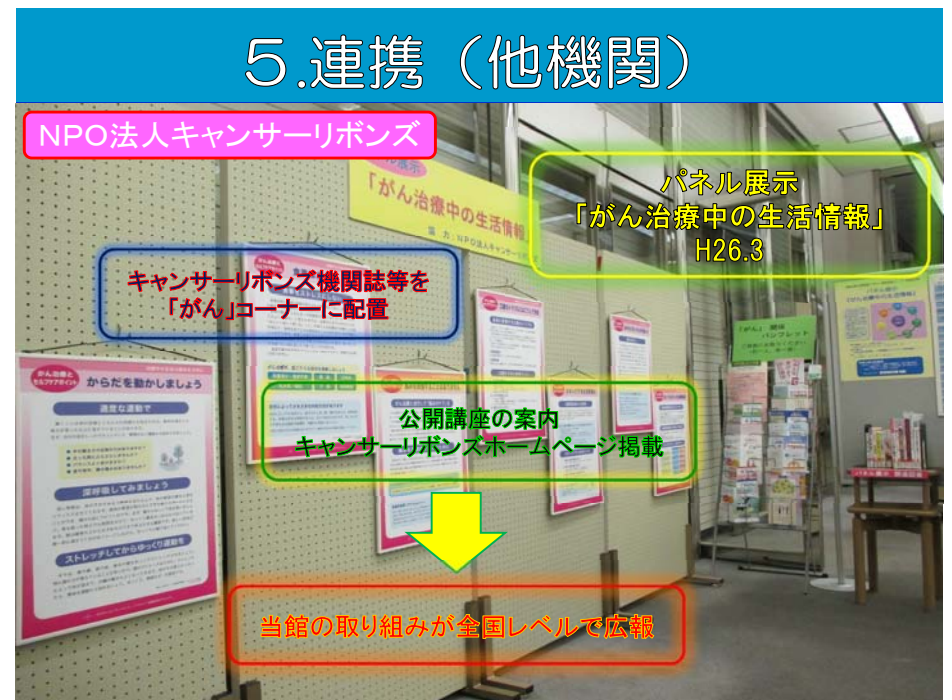
NPO法人キャンサーリボンズ

パネル展示
「がん治療中の生活情報」
H26.3

キャンサーリボンズ機関誌等を
「がん」コーナーに配置

公開講座の案内
キャンサーリボンズホームページ掲載

当館の取り組みが全国レベルで広報



5.連携（他機関）

和歌山県立医科大学図書館 三葛館



5.連携（他機関）

和歌山県立医科大学図書館 三葛館



6. 連携のまとめ

6. 連携のまとめ

和歌山県立図書館の「連携」まとめ

連携先	目的(ねらい)
県担当部局(課)	行政施策での「がん」啓発活動
NPO法人	「がん」を身近にする・患者・ご家族
個人	「がん」関係の取組検証
医療機関	「がん」治療の理解
専門(他館種)図書館	高度な「がん」情報の提供

「がん」情報と「場」の提供の拡充

6. 連携のまとめ

図書館の連携認識

1. 「連携」とは何か？

相互に「メリット」がなければダメ！

図書館の都合ばかりでは連携は続かない

6. 連携のまとめ

図書館の連携認識

2. 図書館の利点を生かす

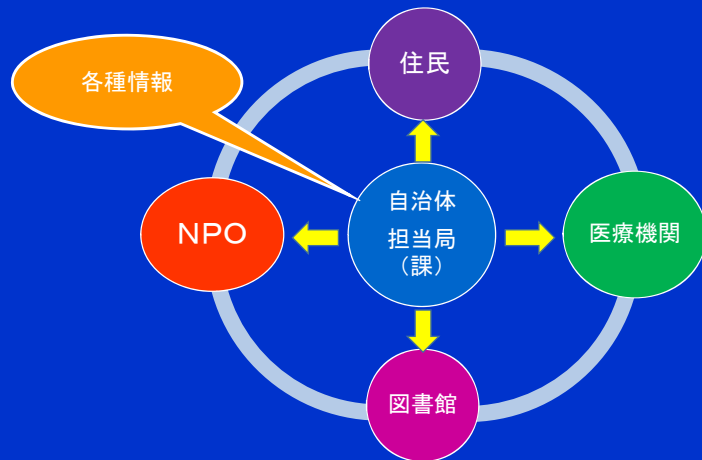
- ① 広報の有効媒体(幅広い利用層)
- ② 場所提供(集客力・休日開館等)
- ③ 学びの環境(安らぎの空間)
- ④ 資料(情報)の存在
- ⑤ 司書の専門性(活用案内・情報提供)

※ 「これからの図書館像～地域を支える情報拠点をめざして～(報告)」
においても、図書館の有効資産を明示

6. 連携のまとめ

図書館の連携認識

3. 図書館は「連携」の中核ではない



6. 連携のまとめ



7. 今後に向けて

「がん」(医療)情報窓口の増加

図書館設置率の課題

連携先スタッフとの協力体制

窓口増加の可能性

医療情報提供の機運向上

がん教育・がんと就労

8. おわりに

「ナウイストになろう！」

「完璧でなくて良いから行おう！」

「とにかくやってみよう！」

「考えるより行動せよ！」

「やって失敗するリスクよりも、やらないことのリスクの方が大きい」

京都大学IPS細胞研究所所長 山中伸弥氏 & MITメディアラボ所長 伊藤穰一氏
(2015年1月1日 Eテレ スーパープレゼンテーション新春SP)